

# 事業承継 フォーラム 2011

事業承継は絆をつなぐ



## 来賓あいさつ

### 中小企業の潜在力強化目指す



中小企業庁  
事業環境部長  
加藤 洋一氏

リーマン・ショック以降、世界的に厳しい状況にあるが、日本は天災、超円高も加わり、中小企業の置かれている状況は大変厳しい。そういう状況下で中小企業は経営力をグローバルに追求し、潜在力を極大化していく時期にさしかかっている。

少子高齢化もあり事業承継は後継者難ではあるが、これまであまり視野になかった企業の合併・買収(M&A)も力にして潜在力を極大化していく。それに官民を上げて取り組んでいく必要がある。このフォーラムが経営力を引き上げる契機になつてほしい。

## 新施策の紹介

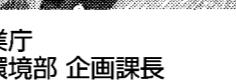
### 事業引継ぎ 支援について



中小企業庁  
事業環境部 企画課長  
間宮 淑夫氏

中小企業庁は後継者不足による中小企業の廃業や技術の消滅を防ぐため、新たに「事業引継ぎ円滑化支援」に乗り出しました。この「引継ぎ」とは「事業を承継する人」が「事業を承継する人」がいないため、第三者に譲りたい」ケースのことで、各都道府県に設置している認定支援機関に事業引継ぎ相談窓口」を設置するなどの対策を講じる。中小企業の中には事業を継続したいが承継者

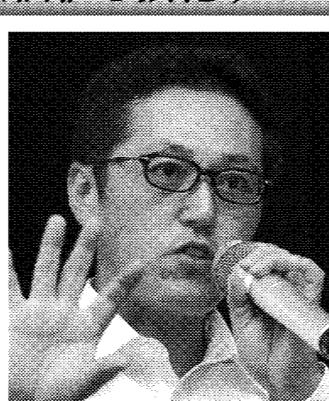
## 各種支援で円滑な引継ぎを促進



中小企業庁  
事業環境部 企画課長  
間宮 淑夫氏

がないためやむなく廃業するケースも多く、雇用や技術などの地域財産が喪失しかねないことが、「国としても大変な問題となっている。「相談窓口」は事業診断、事業継続に關わる情報提供を行う。特に需要の多い支援機関には事業引継ぎ支援センター」を設置、仲介業務などを実施するなど、専門的な対応を行う。同センターは10月に東京、大阪、11月には名古屋、

## 演習B 事業承継虎の巻 ～最適な株式承継で事業価値を強化する～



株式会社アタックス  
取締役執行役員  
アタックス税理士法人  
代表社員 COO 税理士  
磯竹 克人氏

演習Bは「最適な株式承継で事業価値を強化する」と題して、株式会社アタックス取締役執行役員でアタックス税理士法人代表社員 COO の磯竹克人氏が講師を務めた。磯竹氏は実体験を交えながら、オーバードラクスな中小企業をモデルとして事業承継の進め方を解説した。モデル会社は資本金2000万円、売上高11億円の卸売業。事業承継では「株主の状況業績の推移と今後の見込み、株価の現状と見込み、さらには経営者、後継者の考え方が重要な」とある。

# 確かに絆を強める承継へ

## ～次代を見据えた事業承継計画書の作成～

少子高齢化や長期にわたる景気低迷で中小企業の「後継者問題」が深刻化している。中小企業の減少は日本経済の衰退に直結するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構は、事業承継支援の啓蒙・普及を目的に9月16日に東京・千代田区で「事業承継フォーラム2011～事業承継は絆をつなぐ」を開催した。デンタルミラーやプロジェクト用リフレクターで世界トップシェアを誇る岡本硝子株式会社社長の岡本毅氏による講演の後、「事業承継虎の巻」と題した演習が2コースに分かれて実施された。主に経営者を対象とした「事業承継計画書の作成」、主に支援者を対象とした「最適な株式承継で事業価値を強化する」とそれぞれ実務に役立つプログラムであり、参加者は演習に真剣に取り組み、理解を深めていた。

## 主催者あいさつ



独立行政法人  
中小企業基盤整備機構 理事  
広瀬 邦明氏

### 事業承継で素晴らしい日本の引継ぎを

東日本大震災の被災者の中には事業を再開し、従業員、家族を養いたいと思っている方が大勢いらっしゃる。爪痕は大変大きいが中小機構は資金繰り、仮設工場、仮設店舗の建設などで支援している。これからもしっかりと支援していきたい。さて、今回の事業承継フォーラムでは事業承継計画の作成方法も演習していただき。講演会で話を聞くだけでなく、みんなで悩み考えながら身についていただきたいという思いから、次世代へ上手に事業を引継ぎ、素晴らしい日本を引継いでいただきたい。

## 基調講演

### 天職の承継 ～技術と経営の絆で世界の町工場へ～



岡本硝子株式会社  
代表取締役社長  
岡本 毅氏

## 苦労乗り越え父の夢果たす

かし、私の代で会社を譲り受けられないと思えなかったが、父が生きていたら後悔するのをやめよう。ただ、父であつたらどうしたらうかということが行動の指針としている。これからもしっかりと支援していきたい。さて、今回の事業承継フォーラムでは事業承継計画の作成方法も演習していただき。講演会で話を聞くだけでなく、みんなで悩み考えながら身についていただきたい。次世代へ上手に事業を引継ぎ、素晴らしい日本を引継いでいただきたい。

「これからは、一瞬たりとも、父が生きていたりと、父の夢でもいい」一社会を継いだ当時の日記だ。1980年に大学を卒業し、先代である父の反対を押し切り、警察の道に進んだ。その後、父が事故で亡くなった。集中治療室(1C)で父を見たとき、CUI)で父を見たとき、これは天から与えられた職だという「神の声」が聞こえ、岡本硝子を継ぐ決断をした。当時はガラスのガラスの字、経済のケの字、貸借対照表(B/S)も損益計算書(P&L)も分からず苦労した。し

「パルテノン経営」「ガラスという生業で生きる」という考え方を受け継がれている。変えていけないものは、これらの方考え方だ。そこで培われた現場主義。変えるべきものは危機管理と目に見える経営だ。神の声が聞こえ、岡本硝子を継ぐ決断をした。当時はガラスのガラスの字、経済のケの字、貸借対照表(B/S)も損益計算書(P&L)も分からず苦労した。し

「パルテノン経営」「ガラスという生業で生きる」という考え方を受け継がれている。変えていけないものは、これらの方考え方だ。そこで培われた現場主義。変えるべきものは